

2024 年度における伴走支援の取り組み

SSF では、名寄市の新たなスポーツ施策の展開に向けて、市内スポーツ団体組織である N スポーツコミッション、(一財) 名寄市スポーツ協会、風連町スポーツ協会の 3 組織の統合 (2025 年度予定)、統合決定後の新法人設立準備段階において、名寄市と連携を図りながら、N スポーツコミッションの戦略設計アドバイザーに就任した渋谷茂樹 (経営企画グループ長) を中心に伴走支援を実施してまいりました。

主な取り組みとして、統合検討会議及び新法人設立準備委員会への出席・助言を行った他、新法人設立にあたり関係の深い当事者となる競技団体や少年団関係者を対象とした、今後の名寄のスポーツ環境の在り方及び新法人設立の方向性を検討するためのワークショップ (3 回実施) におけるファシリテーションの実施、ワークショップを踏まえたトークセッションにおける講演及びパネリストとしての登壇を行いました。

スポーツ団体ワークショップ (第 1 回)

日時 2024 年 11 月 29 日 (金) 18 時~20 時

場所 駅前交流プラザ「よろーな」1F 大会議室

参加者 54 名

主なプログラム

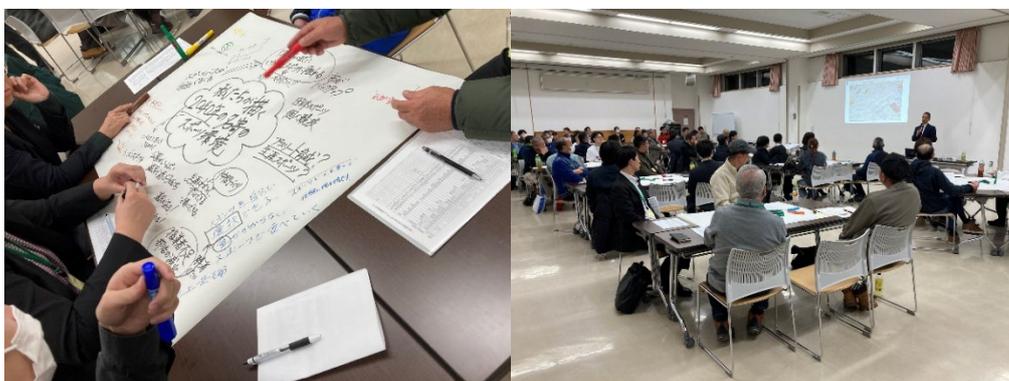
- ・ワークショップの意義の解説
- ・日本のスポーツ環境についての解説
- ・ワールドカフェによる対話 (テーマ: 私たちが描く、2040 年の名寄のスポーツ環境)

内容

SSF のファシリテーションにより、議論のためのヒントとなる日本のスポーツ環境の解説の後、「私たちが描く、2040 年の名寄のスポーツ環境」をテーマに、ワールドカフェ形式による参加型の対話を実施。対話で出された意見 (キーワード) を整理したところ、大きく分けて、次の 5 つのテーマに関心が寄せられた。

【関心の寄せられたテーマ】

- A) 大会・合宿誘致
- B) スポーツ機会の創出 (大人~高齢者)
- C) 子どものスポーツ体験の充実 (幼児~小学生/マルチスポーツ、きっかけ、日常で)
- D) 中高校生のスポーツ環境 (ソフト、ハード、仕組み)
- E) 指導者の育成、充実、増やすために



スポーツ団体ワークショップ（第2回）

日時 2024年12月18日（水）18時～20時

場所 ふうれん地域交流センター2階大ホール

参加者 29名

主なプログラム

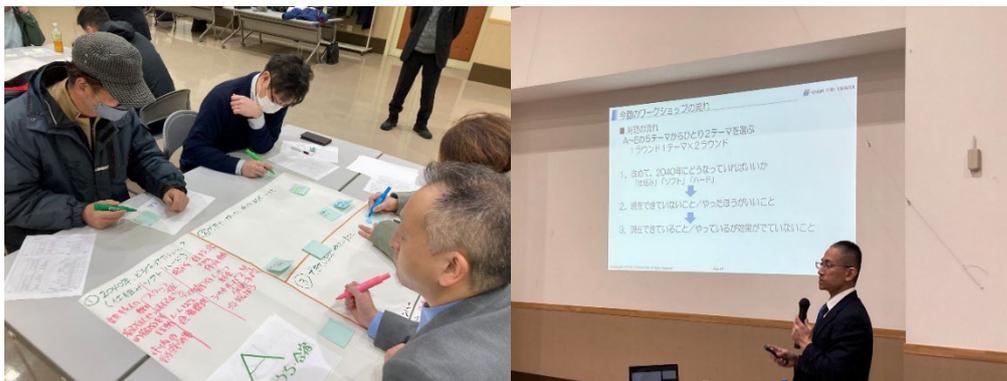
・グループワークと対話（5つテーマについて、「将来像」、「できていないこと」など具体的な整理）、発表

内容

第1回に引き続き、SSFのファシリテーションにより、ワークショップの振り返り、ワークショップで出されたキーワードを5テーマに整理（テーマは第1回内容に記載）した解説の後、関心の高い2つのテーマを参加者が選択し、グループに分かれ、「将来像」「できていないこと・やった方がいいこと」「できていること」について対話をしながら整理。グループごとに整理した内容を発表。

【グループワークで出された主な内容のポイント】

- 「プログラム」への関心が高く、「できていない」「できていること」の両方があげられている。
- 「中高生のスポーツ環境」について、「仕組み」、「ハード（競技）」に集中している。
- 「指導者育成・充実」については、財源（資格取得の補助金、ボランティアになっているなど）と質の担保（研修など）と連携（他団体・保護者との連携）に言及されている。
- 「広報・PR」への関心が多く、特にスポーツ機会の創出について、SNSを活用した情報発信についての言及が多かった。



スポーツ団体ワークショップ（第3回）

日時 2025年1月28日（火）18時～20時

会場 駅前交流プラザ「よろーな」1F大会議室

参加者 20名

主なプログラム

・グループワークと対話（5テーマの「目指す状態」の整理と、重要度と主管団体の明確化）、発表

内容

第1回目、2回目に引き続き、SSFのファシリテーションにより、前回までのワークショップの振り返り後、5つのテーマ（テーマは第1回に記載）の中から関心の高いテーマを参加者が1つ選択し、グループワークを実施。グループワークでは、各テーマの目指す状態として10項目程度を示し、実現に向けてすべきことの具体化、各項目の中での重要度（優先度）の整理（A～Cの3段階、重要度が高いものをA、低いものをC）、取り組む主体の整理（行政、Nスポ、競技団体・少年団などのいずれか）を行った後、グループごとに整理した内容を発表。新法人では、重要度が高かった内容、Nスポが主管すべき内容として出された意見を参考に、多角的、長期的、俯瞰的視点で、事業計画や運営体制づくりを行っていく方向。

【重要度が高かった項目の一例】

（スポーツ機会の創出（大人～高齢者））

〔項目〕市やNスポのウェブサイトやSNSで各団体の紹介を行う

〔具体化〕参加者がワンストップでアクセスできるウェブサイトがあるとよい

〔主管〕Nスポを中心に競技団体と連携

（指導者の育成、充実、増やすために）

〔項目〕学校～高校まで連携した体制がとられ、指導だけでなく学校施設の利用や、学校行事などの調整が
できている

〔具体化〕教員を含み、高校生＋少年団として活動する

〔主管〕行政を中心にNスポと連携



トークセッション「スポーツを通じて、人々の笑顔が輝く豊かな名寄を創る」

日時 2025年3月5日（水）18時～19時20分

会場 駅前交流プラザ「よーな」1F大会議室

参加者 55名

プログラム

- ・ 新法人のビジョン、概要の説明
- ・ 講演「スポーツ団体ワークショップから見た名寄のスポーツ環境の可能性と課題」
- ・ トークセッション「テーマ：私たちが盛り上げ、未来へ紡ぐ名寄のスポーツを」

パネラー：5名（名寄市内少年団指導者、Nスポ市民健康福祉部長、SSF 経営企画グループ長）

内容

本トークセッションは、名寄市内のスポーツ関係者（加盟競技団体関係者、スポーツ少年団指導者など）を対象に開催した3回のワークショップを踏まえ、スポーツを通じた名寄のまちづくりを推進していくための機会として開催。新法人のビジョン、概要の説明後、「スポーツ団体ワークショップから見た名寄のスポーツ環境の可能性と課題」を題し、SSF 澁谷茂樹（経営企画グループ長）が講演を実施。

講演では、3回のワークショップを振り返り、ワークショップでの気づきとして、よかった点（若い指導者＋話を聞ける「先輩」指導者が多い、「やりがい」＋「楽しさ」を感じている指導者が多い→名寄の強み）、伸びしろ・課題（指導者の横のつながりがあまりない、競技団体の行政への依存姿勢→全国共通の課題）に触れるとともに、今後の新法人がスポーツ振興とまちづくりのエンジンとなることの重要性と、スポーツによるまちづくりに関わる人を増やしていくことの重要性に触れた。

続くトークセッションにおいては、「私たちが盛り上げ、未来へ紡ぐ名寄のスポーツ」をテーマに、モデレーターの進行のもと、指導者として大切にしていること、ワークショップで感じたこと、子ども同士でスキルを高める仕組み、保護者が行政に頼り切ってしまう点への打開策、新法人への期待などの話題について、議論が展開された。

